

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、皮膚の「できもの」で通院歴のある患者さんおよび保護者の皆さまへ

和歌山県立医科大学皮膚科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

皮膚腫瘍における腫瘍組織および血液中の遺伝子変異・遺伝子発現に関する前向き観察研究

2. 研究担当者 和歌山県立医科大学皮膚科学講座 教授 神人正寿

形成外科学講座 教授 朝村真一

3. 研究の目的

近年、技術の進歩により様々な病気の遺伝子解析を短期間で効率よく行なうことができるようになり、癌遺伝子の異常が新たに多数発見されています。さらに血液中に漏れだしてくるごく微量の癌遺伝子を検出する検査法も開発されています。

しかし、いまだ原因遺伝子が明らかになっていない皮膚の腫瘍は多数存在します。今回お願いする研究では、皮膚腫瘍の組織と血液を用いて遺伝子の量の変化や変異を調べて原因を見つけ出すことを目的としています。

4. 研究の概要

(a) 対象となる患者さん

平成10年4月1日から平成31年6月1日までの期間中に、原因不明の皮膚のできものの組織検査あるいは手術を受けた患者さん

(b) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くのは、検査や手術のために採取された腫瘍組織あるいは血液です。

(c) 方法

- ・研究期間：H35年2月まで
- ・研究方法と観察項目：

腫瘍組織あるいは血液から遺伝子を取り出し、これまで知られている癌遺伝子の有無を調べます。見つからない場合は、未知の癌遺伝子を調べるために、全ての遺伝子を網羅的に調べることもあります。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. 診療情報の利用を望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、診療情報等が利用されることを望まない場合、患者さんやそのご家族にはこれを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学皮膚科学講座 神人正寿

TEL : 073-447-2300